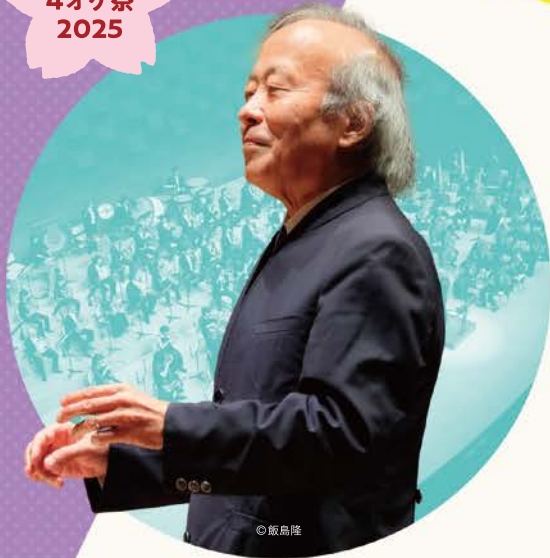




音楽でめぐる 世界の旅

大阪 4 オケ 2025

大阪・関西万博開催記念



大阪フィルハーモニー交響楽団
× 尾高忠明 (音楽監督)

- 武満徹:「波の盆」組曲
- ブリテン: 歌劇「ピーター・グライムズ」より「4つの海の間奏曲」



関西フィルハーモニー管弦楽団
× 鈴木優人 (首席客演指揮者)

- 萩森英明: 東京夜想曲
- バーンスタイン: 「ウェスト・サイド・ストーリー」より「シンフォニック・ダンス」



大阪交響楽団
× 山下一史 (常任指揮者)

- 外山雄三: 管弦楽のためのラプソディ
- R. シュトラウス: 交響詩「ティル・オイレンシュピーゲルの愉快ないたずら」



日本センチュリー交響楽団
× 久石 譲 (音楽監督[2025年4月就任予定])

- 久石 譲: Adagio for 2 Harps and Strings
- ストラヴィンスキー: バレエ組曲「火の鳥」(1945年版)

2025 5/10(土)

14:00開演
(13:00開場)
*18:00 ごろ終演予定

フェスティバルホール

大阪市北区中之島2-3-18

チケット一般発売

2025 1/11[土] 10:00

チケット料金 (全席指定・消費税込み)

S席 10,000円 / A席 7,500円 / SS席 11,500円 / BOX席 15,000円 / パルコニーBOX席 (2席セット) 20,000円 / 学生席 3,500円

*パルコニー BOX席はフェスティバルホール チケットセンターでの電話予約のみ

*学生席はフェスティバルホール チケットセンターのみで販売(25歳以下/学生本人の名前でご予約ください/当日指定券と引き換え/引き換え時、学生証をご提示ください)

チケット・お問い合わせ | フェスティバルホール チケットセンター 06-6231-2221 (10:00~18:00) <https://www.festivalhall.jp> [要事前登録]

*フェスティバルホール「友の会」先行予約: 2024 12/21[土] 10:00~ *窓口での取り扱い は 2025 1/12[日] 10:00~ (残席がある場合のみ)

主催: 朝日新聞文化財団、朝日新聞社、フェスティバルホール、大阪交響楽団、大阪フィルハーモニー協会、関西フィルハーモニー管弦楽団、日本センチュリー交響楽団

協賛: 朝日放送グループホールディングス、関電工、ダイキン工業

後援: 2025年日本国際博覧会協会



©Expo 2025

※やむを得ない事情により曲目、出演者等が一部変更になる場合がございます。公演中止の場合を除き、チケットの変更・払い戻しはできません。あらかじめご了承ください。※未就学児のご入場はご遠慮ください。

「大阪4オケ2025」のテーマは

日本と世界各国で生まれたさまざまな
“物語”の音楽をご紹介します。

万博!

大阪に本拠地を置く四つのオーケストラがフェスティバルホールに集結する「大阪4オケ」。

今回は万博をテーマに、🎵アメリカからはミュージカル、🎭イギリスからはオペラ、

🎼ドイツからは交響詩、🎭ロシアからはバレエ、📺日本からはテレビドラマのための名曲などなど、

物語の情景が目に浮かぶような作品の数々を集めました。音楽でめぐる世界の旅、どうぞお楽しみください。

1 尾高忠明 [指揮] (音楽監督) 大阪フィルハーモニー交響楽団

1970年の万博、心躍った! ベルリンフィル、パリ管など! そしてN響と大阪フィルも参加、N響の開幕演奏会に鍵盤奏者として参加した時の興奮は、しっかりと覚えている。あれから54年。2025年の万博が迫ってきて、ワクワクしている。万博への想いを乗せて、まず日本を代表する武満徹さんの作品で、私が最も愛する「波の盆」。テレビドラマの音楽だが、演奏した英国のオケ団員が大泣きしたほど、涙腺を刺激する名曲だ。そして英国の作曲家で真の天才、ブリテンの代表的オペラ「ピーター・グライムズ」から「4つの海の間奏曲」。このコンサート、自分自身とても楽しみにしているが、これらの曲をご存知ない方にも是非是非聞いていただきたい。



©Martin Richardson

2 鈴木優人 [指揮] (首席客演指揮者) 関西フィルハーモニー管弦楽団

大阪・関西万博の開催を記念する特別な年に、「大阪4オケ」として関西フィルと共演できることを大変嬉しく思います。今回のプログラムでは、萩森英明さんの《東京夜想曲》を通じて、現代日本の感性と都市の光景を音楽で描きます。そして、バーンスタインの《ウェスト・サイド・ストーリー》より「シンフォニック・ダンス」では、多彩なリズムと躍動感を通じてアメリカの文化を感じていただけるでしょう。

4オケが一堂に会するこの祝祭的な演奏会で、音楽の多様な魅力を存分にお届けしたいと思います。皆さまと、この特別な時間を分かち合えることを心より楽しみにしています。



©Marco Borggreve

3 山下一史 [指揮] (常任指揮者) 大阪交響楽団

2025年の4オケで大阪交響楽団はR.シュトラウスの「ティル・オイレンシュペーゲルの愉快ないたずら」と外山雄三先生の「管弦楽のためのラプソディ」を演奏します。

前回の4オケでもR.シュトラウスの「ばらの騎士」組曲を演奏しましたが、「大阪響/山下のR.シュトラウス」を皆さまに認知して頂きたいという思いを持っての選曲です。

外山雄三先生は、その最晩年に大阪交響楽団の指揮者を務められて大きな足跡を残されました。2024年、先生の作品のみで一晩演奏会を開きました。指揮している僕も驚くような「熱量」をオーケストラから感じました。先生への尊敬と感謝の気持ちがそこにはありました。そんな大阪響ならではの「外山ラプソディ」をお聴きください。



©ai ueda

4 久石 譲 [指揮] (音楽監督 [2025年4月就任予定]) 日本センチュリー交響楽団

4年ぶりの4オケは、日本センチュリー交響楽団の音楽監督になって最初のコンサートになります。

まずは僕の「Adagio for 2 Harps and Strings」を演奏します。新日本フィルハーモニー交響楽団から委嘱されて、マーラーの交響曲第5番の前に演奏する曲として2023年に作曲しました。2曲目には、ストラヴィンスキーの「火の鳥」(1945年版)を選びました。他のオーケストラの各プログラムを見たとき、僕はロシア・フランスだと思いました。

「火の鳥」が初演されたのはパリであり、世界最先端の街からの影響を受けた曲です。楽しんでいただけたら嬉しいです。



©Nick Rutter

チケットぴあ <https://t.pia.jp> 0570-02-9999 [Pコード:284-705]
ローソンチケット <https://l-tike.com/> [Lコード:56296]
CNプレイガイド <https://www.cnplayguide.com/> 0570-08-9990
e+(イープラス) <https://eplus.jp/>
セブンチケット <https://7ticket.jp/sc/21nh>

●各オケ会員先行予約: 2024 12/23 [月] ~ ●各オケ一般発売: 2025 1/14 [火] ~

大阪交響楽団 072-226-5522 (平日10:00~17:00)
大阪フィル・チケットセンター 06-6656-4890 (平日10:00~18:00 / 土曜10:00~13:00 / 日祝休み)
関西フィルハーモニー管弦楽団 06-6115-9911 (平日10:00~17:00 / 土曜10:00~16:00 / 日祝休み)
センチュリー・チケットサービス 06-6848-3311 (平日10:00~18:00)